

## 日本インターンシップ学会九州支部 第30回研究会

# 英国における移行・学び直しとインターンシップの往還

日本インターンシップ学会九州支部は、これまでの研究会を通じて産・官・学から多くの方々にご参加いただき、インターンシップに関する課題認識と研究成果や今後の方向性について有意義な議論・情報交換を行って参りました。

第30回研究会では、日本のメンバーシップ型労働市場とは異なるものの、高等教育と職業とのリンクが弱いという共通の課題を持つ英国に焦点をあて、学びと職業の往還の実態を探り、教育と職業とのミッシングリンクをつなぐインターンシップ、職業統合的学習（WIL）がどう活用されているのか、国際的な共同研究データや現場での参与観察をもとにした発表とともに、みなさんとともに日本のインターンシップ・職業統合的学習（WIL）の課題を考えていきます。

会員・非会員どなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしております。

日本インターンシップ学会 九州支部長 眞鍋 和博（北九州市立大学 教授）

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 開催概要 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■日時：2023年8月6日(日) 9:30~11:00

支部総会 9:00-9:20

■開催形式：オンライン（Zoom）

■企画趣旨：英国は、日本のメンバーシップ型労働市場とは異なるものの、高等教育と職業とのリンクが弱いという共通の課題を持ち、しかし社会は積極的に学び直しを受け入れています。本研究会では英国の事例をもとに、日本の大企業への人的資源情報の開示義務やひろくリスキリングへの政策的推奨のもとで、インターンシップや職場を基盤とする学修（work based learning）による学びと職業との往還のこれからの可能性を探ります。英国では、若年者は限られた社会的経験のもとで短期・早期に大学を修了します。インターンシップはどのように活用され職業への移行を果たしているのか。幹部候補の研修も知られていますが、大多数の職業専門的な知識・技能を持たない学生を社会はどう受け入れるのか。この課題については吉本圭一会員が日欧比較研究データをもとに報告します。また、英国では、企業経験を通して専門的技能を蓄積しキャリアを形成していく途上で、どのようにリカレントな学び、リスキリングが試みられているのか。インターンシップや職場での学修がどう活用されているのか。英国大学院に留学中の眞鍋和博会員からは現場での参与観察アプローチを通してこの課題に迫ります。2つの発表を踏まえ、参加者の皆様とともに、英国における学びと職業との往還の理解を深めるとともに、日本におけるリスキリングの課題とインターンシップのあり方について総合的な議論ができれば幸いです。

■プログラム（予定） 司会・進行 平尾 元彦 会員（山口大学 教授）

開会挨拶・趣旨説明 江藤 智佐子 会員（久留米大学 教授）

発表① 「英国における学びと職業との往還—日欧の大学教育と職業への移行の比較研究から」  
吉本 圭一 会員（滋慶医療科学大学 教授）

発表② 「英国大学院における学び直し（リスキリング）とインターンシップ」  
眞鍋 和博 会員（北九州市立大学 教授）

総括

■参加費： 無料（非会員も無料）

■申込方法： Google フォーム（URL または QR コード）から事前にお申し込みください。

参加申込フォーム：<https://forms.gle/RFk9uGWpbN6P3Nwu9>

■申込締切： 2023年8月4日（金）

\*オンライン（Zoom）参加者には、前日までに指定いただいたアドレスにミーティングID、パスコードを連絡いたします。

■問合せ先：日本インターンシップ学会九州支部事務局 e-mail [jsikyushujimu@gmail.com](mailto:jsikyushujimu@gmail.com)

